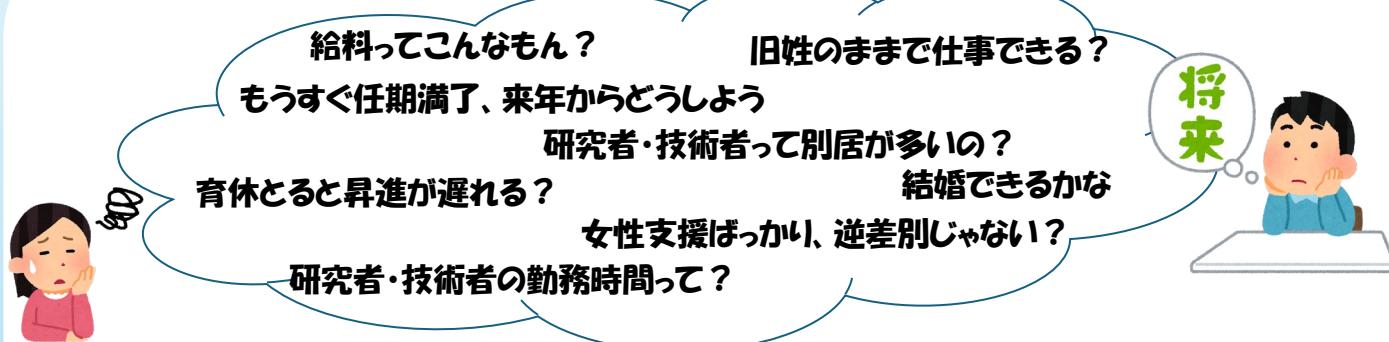


(第1回)男女共同参画推進委員会(DEI)通信

DEI: Diversity, Equity, and Inclusion

会員の皆さん、こんな悩みを持ったことはありませんか？



本委員会では、これらの課題に取り組んでいます。

加盟



男女共同参画学協会連絡会

要望



内閣府・文部科学省など

国の基本計画（科学技術イノベーション基本計画、男女共同参画基本計画）および事業に反映

<これまでの反映実績>

- 科研費などライフイベントに配慮した研究中断延長や年齢制限緩和
- 特別研究員RPD制度の実現
- 文科省による雇止め防止要請
- 女性研究者研究活動支援事業
- 家族帯同支援制度の推奨など。。。



男女共同参画って、本当に進んでいるの？

「男女共同参画学協会連絡会」（連絡会）は、研究者・技術者が抱える不安や困りごとを大規模アンケートなどで明らかにし、その結果を国の施策につなげています。日本生理学会も加盟し、その恩恵を受けています。

第1回通信では「男女共同参画学協会連絡会」の紹介と「大規模アンケート」等、連絡会の調査結果から見えてきた課題を共有します！

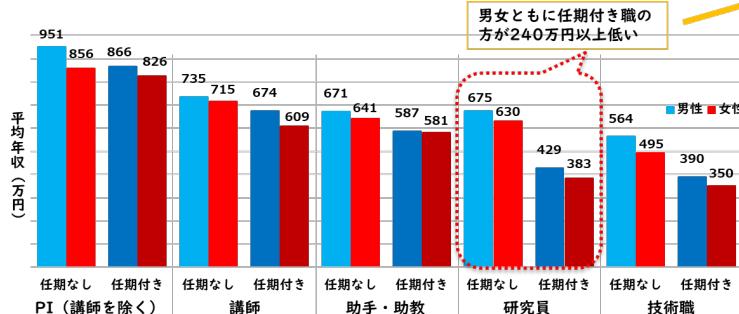
男女共同参画学協会連絡会とは

- 理工医分野で男女がともに活躍できる環境づくりを目的に、2002年に設立。
- 現在、本学会を含む117学協会が加盟している。
- 約5年ごとに「大規模アンケート」を実施し、その結果をもとに国への提言や女子中高生の理系進路支援などを行っている。
- 第6回大規模アンケートを2026年10月に予定

データから見た科学技術系専門職の『今』（大規模アンケートより）

給料ってこんなもん？（図1）

図1 大学・高専/研究機関の雇用形態と平均年収（第5回2021年）
(役職・男女別、在職時間40時間/週以上のみ)



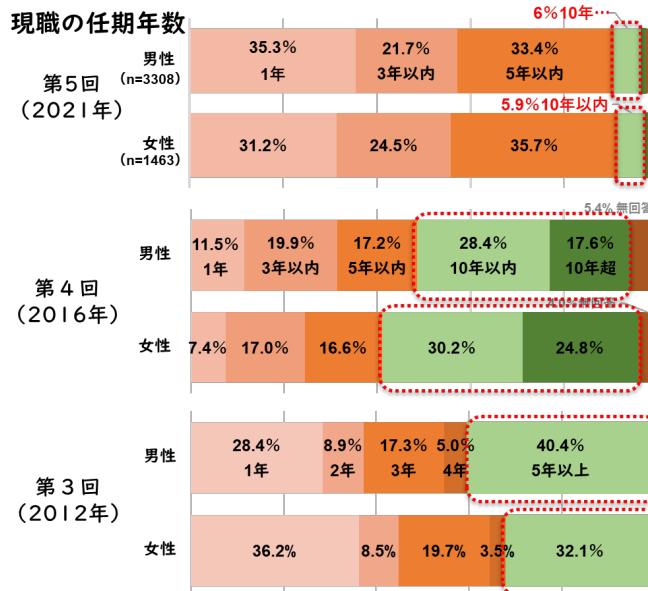
任期付きは、任期なし職より低収入（図1左）。特に任期なし研究員（●）は男女とも年収が上昇している一方、任期付き研究員（◆）は男女ともに横ばい～減少傾向（図1右）。なお、女性は平均的に常に低収入（図1左右グラフ、赤色）。

もうすぐ任期満了、来年からどうしよう？（図2）

「契約年数が5年以下」と回答した人の割合が、第3回、第4回の調査時に比べて、男女共に急増、9割を超えた（図2）。

→雇用の不安定化が加速！ 雇止めの影響か？

図2 現職の任期年数



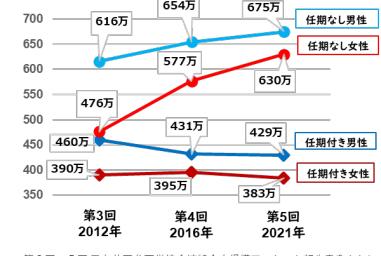
女性は子どもの有無に関わらず、男性より昇進が遅い。

大学・高専では、4群間で最も昇進が早い「子あり男性」が45歳頃に到達する役職指數に対し、「子なし男性」は約4年、「子なし女性」は7年、「子あり女性」は12年遅れる（図4）。

本DEI通信で扱った内容について、ご意見・ご経験・改善提案をぜひお寄せください（右のQRコードからリンクから）。いただいた声は、生理学会での今後の企画や支援の拡大、改善策の検討に活用します。また、連絡会の提言・要望WG等とも共有し、制度改善の検討材料とします。

本委員会は、研究者・技術者が生き生きと活動できる環境を目指し、これからも情報発信を続けます。

大学・高専及び研究機関に所属する研究員の平均年収の経年変化

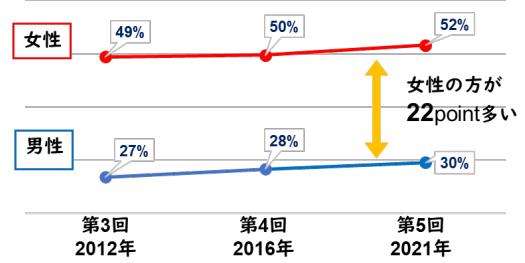


第3回～5回 男女共同参画学協会連絡会大規模アンケート報告書をもとに
志希田美佐が作成（2022年）

研究者・技術者って別居が多いの？（図3）

配偶者/パートナーを有する男性の約30%、女性の約50%に職の都合による「別居経験あり」。男女ともに微増傾向（図3）

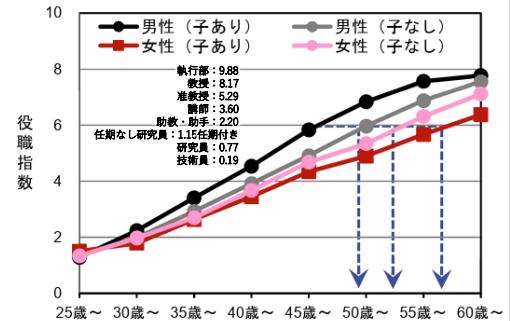
図3 職の都合により別居した割合



第3回～5回 男女共同参画学協会連絡会大規模アンケート報告書をもとに
志希田美佐が作成（2022年）

育休とると昇進が遅れる？（図4）

図4 年齢別・男女別役職指數



転行率：9.88
微昇：8.17
准昇：3.60
助教・助手：2.20
任期なし研究員：1.15
研究員：0.77
技術員：0.19



図は全て男女共同参画学協会連絡会 提言要望活動資料より引用

本資料の転載・二次利用はご遠慮ください。引用・転載をご希望の場合は男女共同参画推進委員会までご連絡ください